

## 河合 正雄 先生

### 先生のプロフィール

【出身地】

東京都中野区

【専攻】

憲法学

【近年(2~3年)の担当科目】

憲法入門、統治機構、ベーシック演習、ミドル演習、プログレッシブ演習、アドバンスト演習、日本国憲法

【大学時代所属していたサークル】

スキューバダイビング



①新入生、初学者に向けて科目の魅力について教えてください。

憲法は、他の分野と比べて抽象度が高く難解な印象を持たれるかもしれませんが、具体的事案とあわせて考えていけば、それなりに理解しやすいと思います。憲法の領域は広いので、ゼミでは割と自由に研究テーマを選ぶことができます。

②先生は今後このゼミをどういうゼミにしていきたいですか？

ゼミ生がゼミに所属意識を持ち、報告準備・プレゼン・議論・雰囲気作り・懇親会の企画等それぞれの得意分野を生かし、卒業後も緩やかにつながることのできる関係を構築できるゼミになると良いと思います。

③先生が学生時代に失敗したことや後悔していることはありますか？

各種公務員や民間に就職する可能性について、まともに検討しなかったことです。学部生時代は漠然と大学院に進むことのみを考えていました。たまたま30歳で正規の研究職に就くことができましたが、今考えるとかなりリスクだったと思います。

④もし先生が現代の大学生だったら、どんなことをしたいですか？

学生時代に実際にやっていたことに加えて、(つまらない模範解答になってしまいますが、) 語学(特に独仏語)と自分の研究テーマの隣接領域を一通り学びたいです。

⑤もし先生が面接官だったらどんな学生を採りたいですか？（ゼミ面接ではなく就職面接寄りで）

誰とでも分け隔てなく人づきあいができ、融通が利き、しっかりと自分をもった人でしょうか。

⑥先生が思う、優秀な学生の定義を教えてください。

成績が良く（ある程度で充分です）、誰とでも分け隔てなく議論ができ、遅滞なく連絡のやり取りができ、冗談が通じ、そこそこ人づきあいが良い人でしょうか。

⑦学生に向けて一言お願いします

仲の良い少数の友人だけで固まらずに（これが一番楽ですが、非常に勿体ないです）、可能な限り色々な人と交流してください。学部時代は人生の中でも比較的自由に過ごすことができる貴重な4年間です。長いようであつという間ですので、何事も積極的に取り組む姿勢が重要だと思います。

★ プログレッシブ 河合 ゼミの実態！（2023年度ゼミ生 23名）

★ 河合 先生のトリセツ

人とのつながりや交流を非常に重要視しています。そのため、懇親会や合宿を積極的に開催してくれます。ゼミ発表の準備で困った際には熱心に相談に応じてくれます。また、レジュメの作成方法や論文の探し方なども丁寧に教えてくれます。さらに、間違いに対して何度も説明してくれます。

日々や休暇中の課題

活動内容

【日々の準備、課題】

- ・毎週行われるテーマ研究の準備、報告
- ・テーマ研究報告の予習

【長期休暇課題】

特になし

【ゼミのタイムスケジュール】

担当者の報告 50分、質疑・議論 40分、先生の解説 10分が目安

憲法における主要な論点を学説や判例を交えて検討します。厳しいゼミではなく、穏やかな雰囲気でのゼミです。懇親会や合宿もあり、ゼミ生同士が仲良くなりやすい環境が整っています。